

秋田



「至福の時」

秋田県屋外広告美術協同組合

理事 啓発事業委員長

照井 勉

(テルイカンバン有会社)

うつすらと、漠然と、こうゆう時が来るとは予感していたが、還暦が過ぎたあたりから体に縄でもかけられたようにグイグイと加速度的に時間の流れが速くなり古希も過ぎた。少しは体のことも考えゆつくりランやウォーキングもやっつてはいるが、年齢は正直なもので、あちこちが痛み出す。少しでも無理をするとときめんだ。

ちを加えると結局八十人位の人達の顔を描いていた。ジャズマンを描く時はその人の曲を聴きながら描いた、至福の時とはこんな瞬間だと思った。描いているとその人の息遣いが聞こえてくるようなそんな気持ちにもなっていた。

さて体の事はさておいて、心とか精神の方はどうなっているか。いつも何か図画を描いていないと気持ち定まらない。今までは色々としりぞみみたいなものを考えて描いてきた、クレヨンで描くことに凝ったこともあるし、電柱やその周辺の配線の形が面白くて夢中になったこともある。

描き終えて気が付いたのだが九割近くの人達が故人だった。あともう一つ面白い現象が起こった。描こうとした中に三人だけ挑戦しても描けない人達がいた。キリストとお釈迦様、もう一人がゴッホだった、生前のゴッホの写真を一枚だけ知っていたが、あの何枚も描いた独特の自画像とは全然別人に見えるので、ゴッホの自画像を基に描いてみたけど無理だった。

とにかく素人の遊びだから、スタイルを決めないでいろんな描き方をやって来た。ただし何十枚か描いているとネタが切れ嫌になつてしまう、飽きてくるのだ。それで昨年二月頃からはシリーズを考え付いた、それは今まで好きで読んできた作家や詩人、好きな画家、音楽家。大げさに言えば今まで生きてきた人生で世話になった人達の顔を描くということだった。

人の顔の図画を描き始めたのは高校生のあたりか、勉強のつもりで沢山描いたものだが、そのうちに人の顔程難しいものはないと分かり、具象から逃げるように抽象画を主に描くようになっていた。だから今回の試みは五十数年ぶりという事になる。難しかったけど楽しい数か月間だった。ちなみにこの程度のモノは今の中学生でももつとまよく描ける時代になっている。しかし前述のように別に似顔絵のようにならずに描くことを意識したわけではなく、好きな人を描いているその時間こそがオレの求めたものだった。

百人の人達の顔を描くことを目標にしたが、五十人位で終わった、さてと考えたが、好きとか嫌いとかではなくこの世の中で偉大な人を探してみた。そういう人た

ちを加えると結局八十人位の人達の顔を描いていた。ジャズマンを描く時はその人の曲を聴きながら描いた、至福の時とはこんな瞬間だと思った。描いているとその人の息遣いが聞こえてくるようなそんな気持ちにもなっていた。

照井勉



秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

● 中村塗料販売株式会社

秋田市寺内蛭根 3-24-15 TEL 018-863-2005

● 株式会社丸和商会

秋田市東通 6-9-4 グランデール東通101号 TEL 018-874-8731

● (株) システムアート

秋田市外旭川字田中 43-3 TEL 018-863-7514

事務局便り

今年は、コロナの影響でいろいろなことがありました。雪もすくなく降りました。

寒波で停電もありました。考えると嫌なことばかり多かったです。

秋田県は、他の県と比べ、コロナの方はだいぶ少ないです。それでもスーパーなどへ行くこと、マスクをしていない人は見かけることがないくらいになりました。おかげで、口の周りの肌が荒れて大変です。夏のマスクは地獄のようでしたね…

でも悪いことばかりでもありませんでした。自粛している間、運動して5キロやせることに成功しました。悪い事ばかりでなく、少しでも前向きになれることを探して毎日楽しく暮らしたいと思っています。

事務局員 小林 明子